

# アシードホールディングス株式会社 会社近況報告会



【証券コード:9959】

**ASEED** アシードホールディングス株式会社  
代表取締役社長 河本 大輔

1. 事業概要
2. 2025年3月期決算概況と今期通期見込
3. 成長戦略
4. ESGの取り組み
5. 株主還元
6. 質疑応答

商号	アシードホールディングス株式会社
所在地	広島県福山市船町7番23号
設立	1972年11月20日
代表者	代表取締役社長 河本 大輔
資本金	7億9,847万円
発行済株式数	13,495,248株
上場証券取引所	東京証券取引所 スタンダード市場
証券コード	9959
連結子会社	9社
持分法適用 関連会社	HaLong Beer And Beverage Joint Stock Company(ベトナム)
従業員数	751名(グループ)



「明日(A)へ向けてまく種子(SEED)」は、自然と環境に感合して、果実を結びながら安定した良樹に成長する。我々は、因果律を基本とし、道義と知行合一の経営に努める。最良の品質と真心をもって、お客様の満足を追求し、人の健康と幸福を通じて豊かな社会の実現に貢献する。



## ASEEDING THE FUTURE

人、地球、未来—すべての笑顔と健康のために

アシードグループは、人、地球、未来がもっと笑顔で健康になるために、その思いを込めた種をまき続け、実現に向けて貢献しながら、日々成長を遂げていくことを宣言します。

- ①飲料・食品を通じて、笑顔と潤いに溢れた健康な生活シーンを提供します。
- ②生き生きと笑顔で働き、豊かで健康な人生を送ります。
- ③未来のために地球と調和した持続可能な成長を続けます。

### 【グループミッション】

バランスある企業価値の最大化

事業価値	時代の要請と顧客ニーズにあった、すぐれた技術、製品及びサービスを提供し、社会の便益を図り、生活者とともに真の豊かさを実現する。
人間価値	人間尊重と人材育成を基本とし、社員の福祉向上と能力開発に努力し、働く個人に自己実現の場を提供する。
社会価値	自然、人類や社会の持続的・調和的な発展に貢献するため、市民社会のよき一員として積極的にその役割を果たす。
資本価値	組織の総力を結集して行動し、明日の事業活動(収穫)のための利益(種子)を確保し、企業存続と変革に要する未来費用として必要な付加価値の増大に努力する。

- 1972年 日本バンテン(株)を設立し、食品機器の販売を開始
- 1973年 中国フード機器(株)に商号変更し、自販機によるオペレーター業務を開始
- 1989年 アシード(株)に商号変更
- 1993年 日本証券業協会に株式を店頭登録
- 1999年 北関東ペプシコーラボトリング(株)(現・アシード(株))の株式を取得し子会社化
- 2000年 (株)三吉酒造場(現・アシードブリュー(株))の株式を取得し子会社化
- 2001年 東京証券取引所 市場第二部上場
- 2008年 アオンズエステート(株)を設立  
アシード(株)をアシードホールディングス(株)に商号変更し持株会社制へ移行
- 2011年 宝積飲料(株)の株式を取得し子会社化
- 2013年 ベトナム・ホーチミンに駐在員事務所を開設
- 2014年 ベトナムのHaLong Beer And Beverage Joint Stock Companyの株式を取得し、  
持分法適用関連会社とする
- 2021年 連結子会社の北関東ペプシコーラ販売株式会社(現・アシード(株))が(株)いいじまの株式を  
取得し子会社化  
ロジックイノベーション(株)の株式を取得し子会社化
- 2022年 東証の市場区分再編により、スタンダード市場を選択  
(株)河村農園の株式を取得し子会社化
- 2023年 静岡ローストシステム(株)、マルサン萩間茶(株)の株式を取得し子会社化
- 2024年 アシードブリュー(株)及び宝積飲料(株)を会社分割(吸収分割)し、販売部門と製造部門に再編  
アシードブリュー(株)をアシードビバレッジプラス(株)(販売部門)、宝積飲料(株)をアシードブリュー(株)(製造部門)に商号変更



アシード  
ホールディングス

			セグメント売上高 連結売上に占める率 (2025年3月期)
自販機運営 リテイル事業	 アシード株式会社 (子会社)株式会社いいじま	飲料・食品自動販売システムの運営・販売	13,614百万円 56.8%
飲料製造 事業	 アシードビバレッジプラス株式会社 (旧 アシードブルー株式会社)	各種ソフトドリンク(清涼飲料水)及び 酒類の企画開発・販売	9,961百万円 41.6%
	 アシードブルー株式会社 (旧 宝積飲料株式会社)	各種ソフトドリンク(清涼飲料水)及び 酒類の製造	
	 株式会社河村農園	健康茶などの加工商品化・販売	
	 静岡ローストシステム株式会社	茶葉の受託加工・製造・販売	
	 マルサン萩間茶株式会社	茶の加工及び販売、オンラインストアの 経営	
不動産 運用事業	 アオンズエステート株式会社	不動産の開発・運営・賃貸及び管理	140百万円 0.6%
その他事業	 ロジックイノベーション株式会社	納品代行・納品前作業代行・輸送業務・ 海外輸出入業務、廃棄物のリサイクル事業	252百万円 1.1%

※不動産運用事業のセグメント売上高・率には、アシードホールディングス(株)等の実績も含む

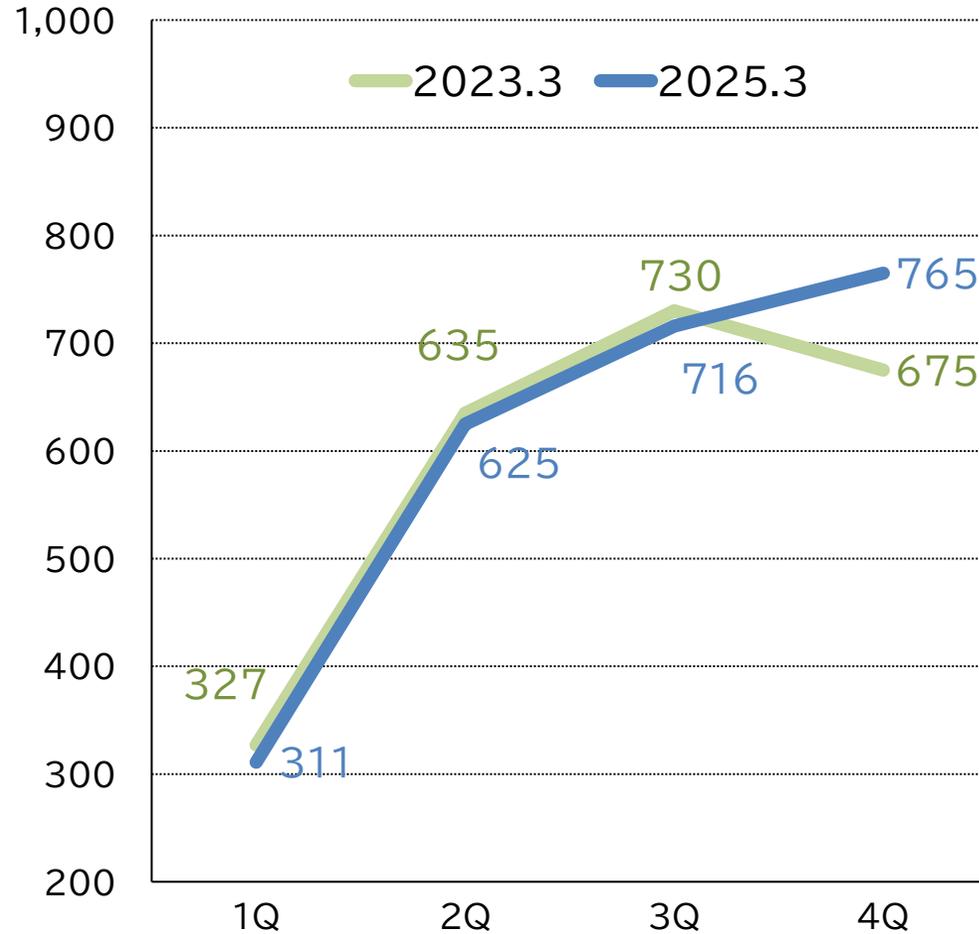
1. 事業概要
- 2. 2025年3月期決算概況と今期通期見込**
3. 成長戦略
4. ESGの取り組み
5. 株主還元
6. 質疑応答

	2024年3月期	2025年3月期	増減率
売上高	23,260百万円	23,969百万円 (708百万円増)	3.0%
営業利益	767百万円	765百万円 (1百万円減)	△0.2%
経常利益	1,038百万円	1,093百万円 (55百万円増)	5.4%
親会社株主に帰属する 当期純利益	768百万円	748百万円 (20百万円減)	△2.6%

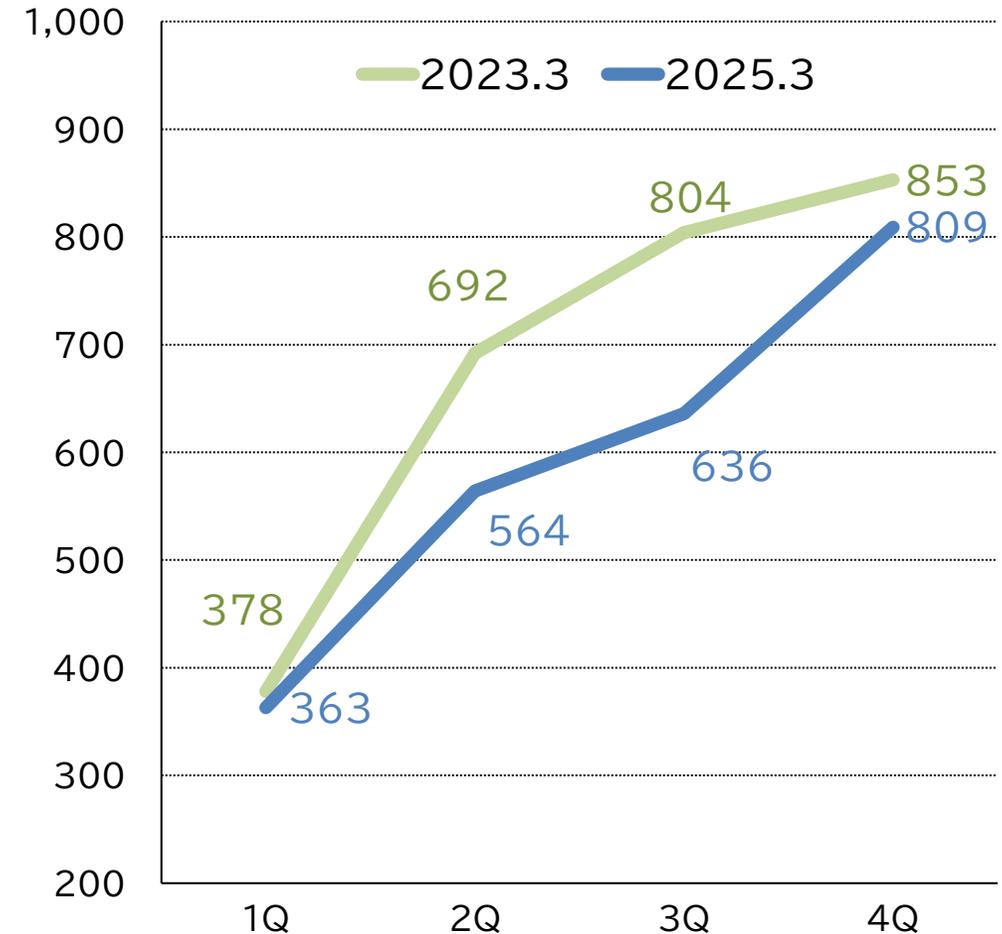
	売上高		営業利益	
	2024年3月期	2025年3月期	2024年3月期	2025年3月期
自販機運営リテイル事業	13,425百万円	13,614百万円	195百万円	240百万円
<ul style="list-style-type: none"> <li>・10月よりペットボトル商品を中心に売価改定を実施し、利益率の改善を進める</li> <li>・業務の効率化を図り、収益性の向上に取り組む</li> <li>・新札対応のための機材の切り替え、キャッシュレス対応を進め対応費用が発生</li> </ul>				
飲料製造事業	9,449百万円	9,961百万円	834百万円	809百万円
<ul style="list-style-type: none"> <li>・再編に伴う製造の停止や製造数量の伸び悩みにより低調に推移</li> <li>・閑散期となる冬季にソフトパウチ飲料の製造数量が大幅増加</li> <li>・静岡ローストシステムの茶葉加工が堅調に推移</li> <li>・新商品を7点、リニューアル商品を7点発売し、自社商品のラインナップを充実</li> </ul>				
不動産運用事業	141百万円	140百万円	208百万円	218百万円
その他事業	243百万円	252百万円	22百万円	35百万円

(単位：百万円)

## 営業利益



## うち飲料製造事業 (セグメント利益の調整は未考慮)



# 2025年3月期 連結貸借対照表

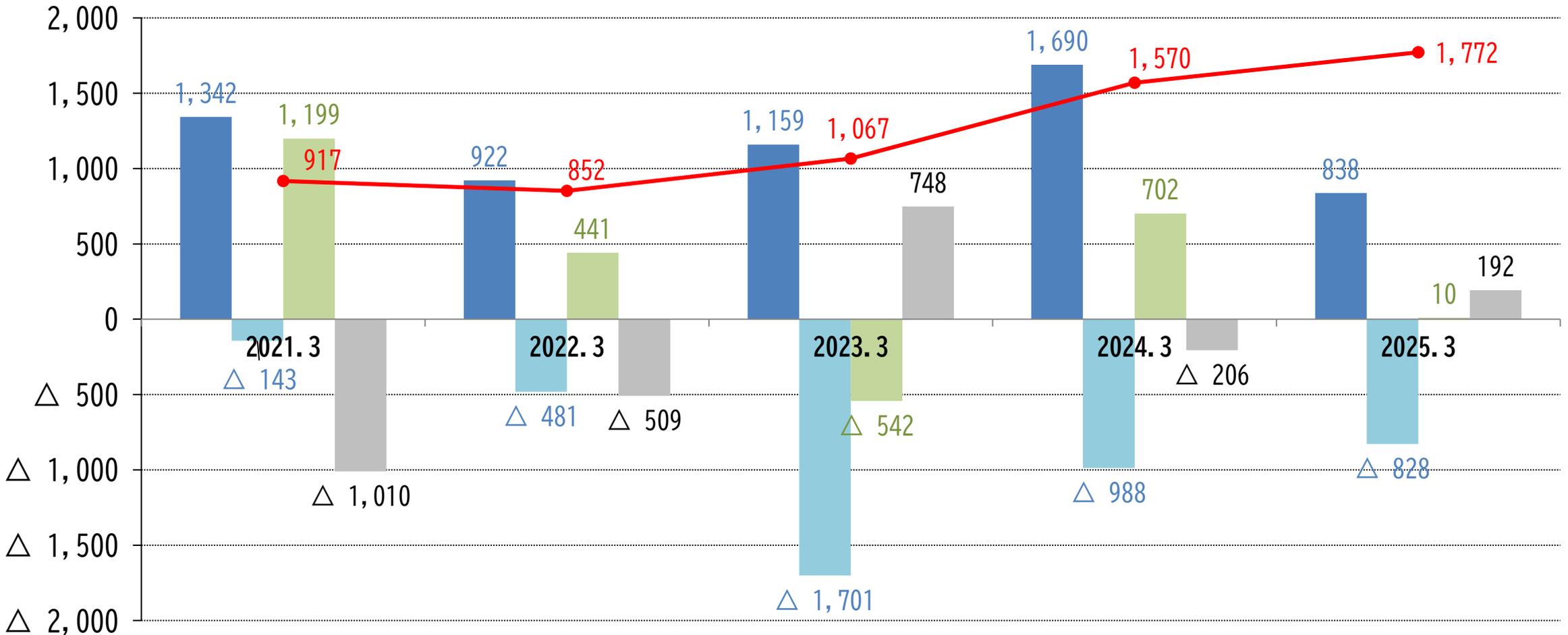
(単位：百万円)

科 目	2024.3	2025.3	増減	科 目	2024.3	2025.3	増減
<b>資産の部</b>				<b>負債の部</b>			
流動資産	7,062	7,505	443	流動負債	8,880	8,575	△304
固定資産	11,866	12,149	283	固定負債	3,418	3,856	438
有形固定資産	9,520	9,626	105				
無形固定資産	270	223	△46	負債合計	12,298	12,431	133
投資その他の資産	2,075	2,299	224	<b>純資産の部</b>			
				株主資本	6,726	7,267	541
				その他の 包括利益累計額	△96	△44	51
				純資産合計	6,630	7,223	593
<b>資産合計</b>	<b>18,928</b>	<b>19,655</b>	<b>726</b>	<b>負債純資産合計</b>	<b>18,928</b>	<b>19,655</b>	<b>726</b>

# 連結キャッシュフロー推移

(単位：百万円)

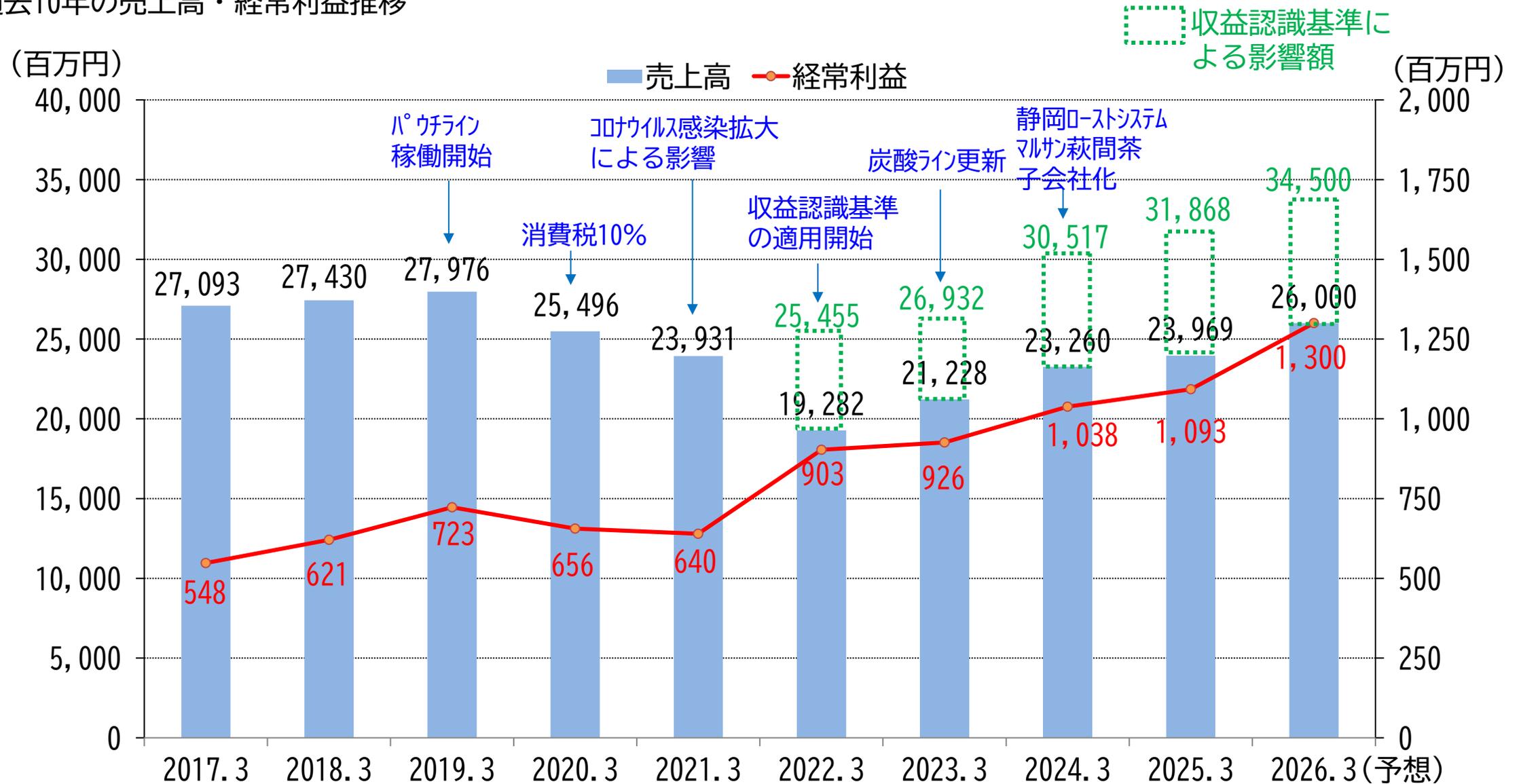
- 営業活動によるキャッシュ・フロー①
- 投資活動によるキャッシュ・フロー②
- フリーキャッシュフロー①+②
- 財務活動によるキャッシュ・フロー
- 現金及び現金同等物期末残高



	2025年3月期 実績	2026年3月期 業績予想	増減率
売上高	23,969百万円	26,000百万円 (2,030百万円増)	8.5%
営業利益	765百万円	1,000百万円 (234百万円増)	30.6%
経常利益	1,093百万円	1,300百万円 (206百万円増)	18.9%
親会社株主に帰属する 当期純利益	748百万円	840百万円 (91百万円増)	12.2%

- ・仕入商品や原材料・資材・燃料費の値上がりが続く中、生産性の向上や適正な価格改定に取り組む
- ・グループ各社が得意分野を伸ばすとともに、相互のシナジー効果を高める
- ・ブランド価値の創造に取り組む
- ・昨年10月の飲料製造事業の再編に伴うマイナス要因がなくなる

## 過去10年の売上高・経常利益推移



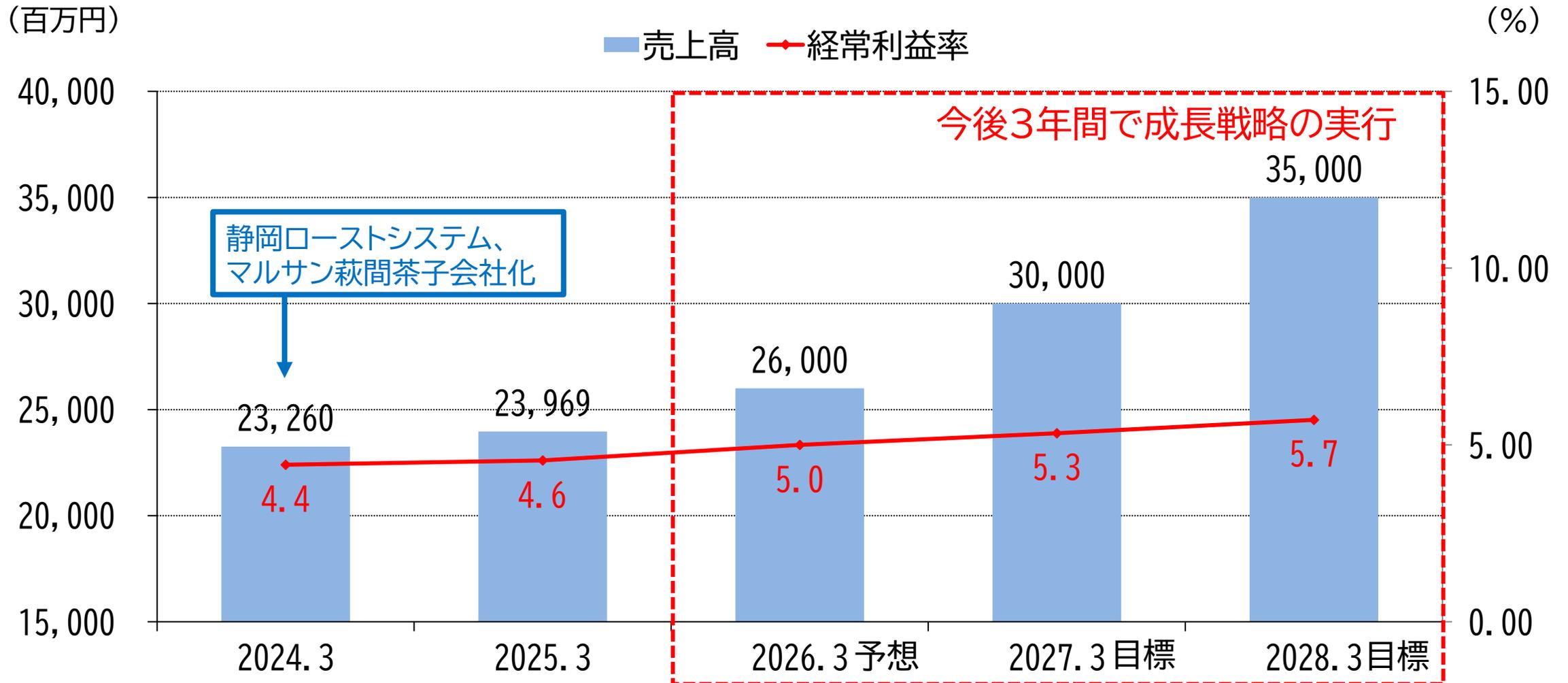
1. 事業概要
2. 2025年3月期決算概況と今期通期見込
- 3. 成長戦略**
4. ESGの取り組み
5. 株主還元
6. 質疑応答

売上高 350億円

経常利益 20億円

経常利益率 5.7%

当期純利益 14億円

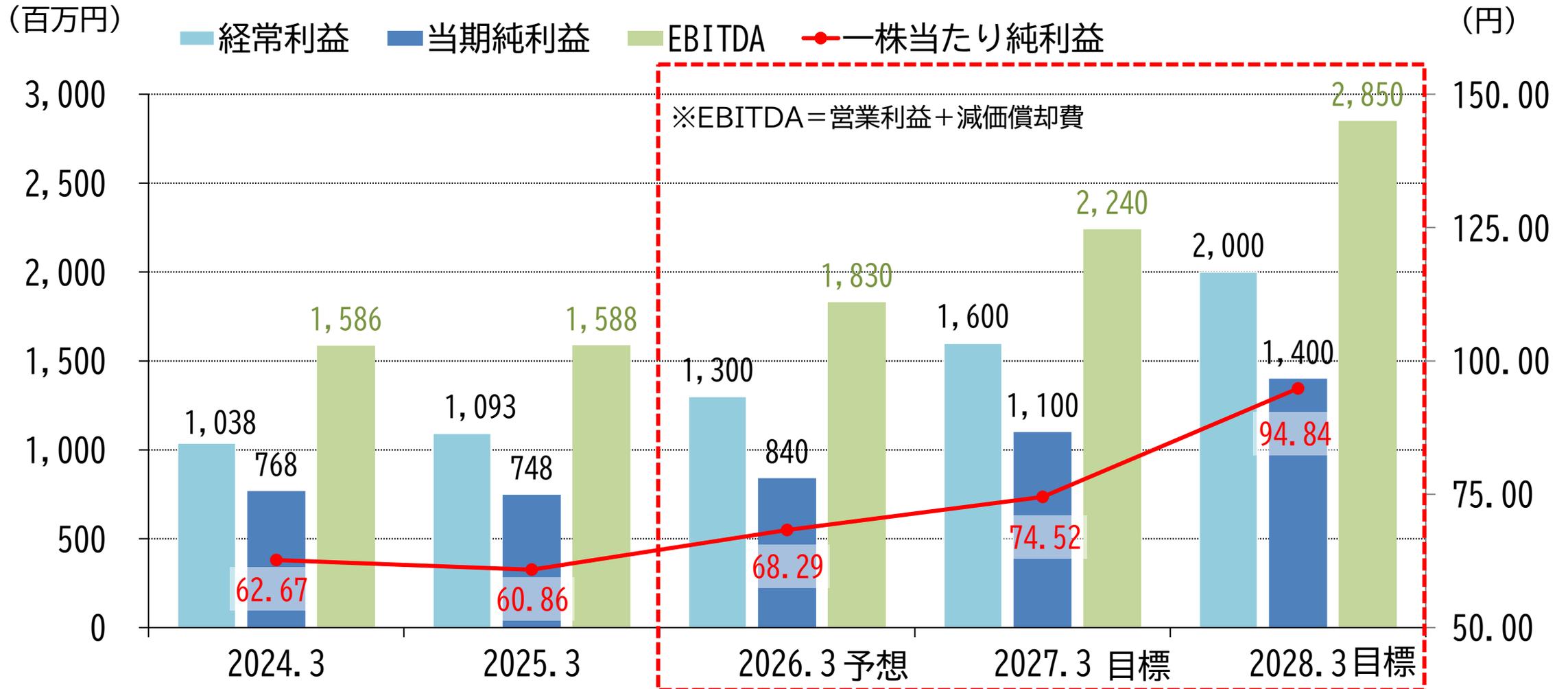


売上高 350億円

経常利益 20億円

経常利益率 5.7%

当期純利益 14億円



PBRは1.20倍(3月末株価)と1倍を上回る水準  
成長戦略・株主還元を中心に更なる向上を目指す

※は2025年3月期実績

**資本効率**  
良き投資の対象となる資本効率

**ROE**  
(自己資本当期純利益率)  
12%以上  
※10.8%

**資産効率**  
同業でトップクラスの資産効率

**ROA**  
(総資産経常利益率)  
7%以上  
※5.7%

**財務健全性**  
事業投資が可能な財務基盤

**自己資本比率**  
35%程度を維持  
※36.7%

**株主還元**  
安定性、継続性を考慮した株主還元

**配当性向**  
30%程度  
※29.6%

①  
ブランド創造企業へ —  
アシードブランドの拡販、輸出強化

②  
自販機運営リテイル事業において  
独立系オペレーター No1 へ

③  
飲料製造事業の生産性向上、新たな  
製造ラインの検討、M&Aの推進

④  
海外ビジネスの強化と事業投資

⑤  
物流事業の強化

⑥  
新規事業創出とシナジー創出のための  
新規投資の推進

①  
ブランド創造企業へ —  
アシードブランドの拡販、輸出強化

②  
自販機運営リテイル事業において  
独立系オペレーター No1 へ

③  
飲料製造事業の生産性向上、新たな  
製造ラインの検討、M&Aの推進

④  
海外ビジネスの強化と事業投資

⑤  
物流事業の強化

⑥  
新規事業創出とシナジー創出のための  
新規投資の推進

## ①ブランド創造企業へ — アシードブランドの拡販、輸出強化

自社ブランドの認知度を上げ、商品販売を28年3月期までに150万ケースまで押し上げる

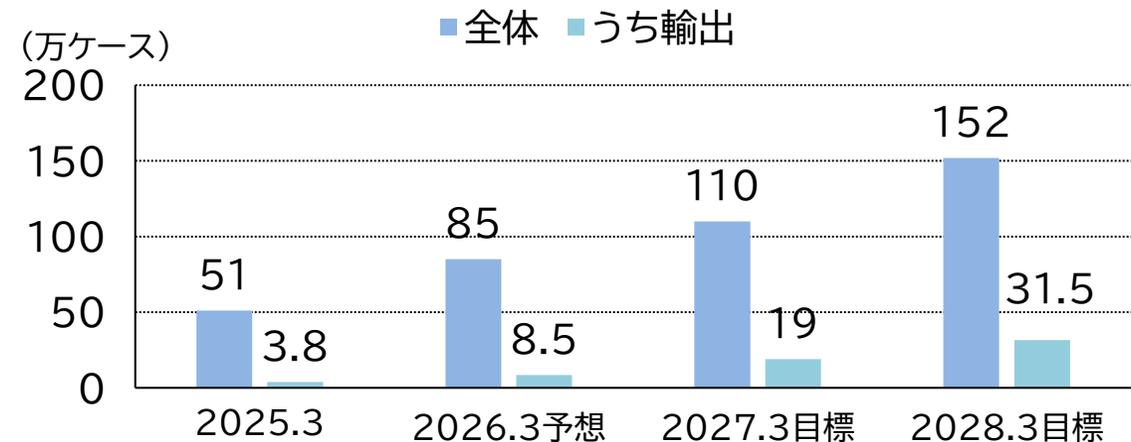
### 【マーケティング強化】

- ・自社ブランド商品の開発、販売促進強化、販売ネットワークの拡充のため積極的に経営資源を投入
- ・海外市場、特にASEAN諸国・欧米市場を中心に自社ブランド商品の輸出を強化

### 【開発力強化】

- ・独自性を出し、価格ではなく価値で勝負

販売数・輸出数の増加計画



主要ブランド 2025年3月期販売数前年比較

ASTER	28.0%増
女王のノンアル	39.6%増
ためして寒天	29.1%増

## ●販売店舗数の増加・試飲販売等の実施

スーパー、ドラッグストア、ホームセンターなどで採用され、販売店舗数も増加。  
試飲販売やイベント出店も積極的に実施しています。



## ●展示会への出展

【”日本の食品”輸出EXPO】 2024年6月19日-21日  
【Vietfood&Beverage】(ベトナム) 2024年8月8日-10日



## ● イベント出店

- ・フェミナーレ in Hiroshima
- ・しもつけサマーフェスティバル in いしばし
- ・麻布十番納涼まつり
- ・福山ばら祭2024・2025

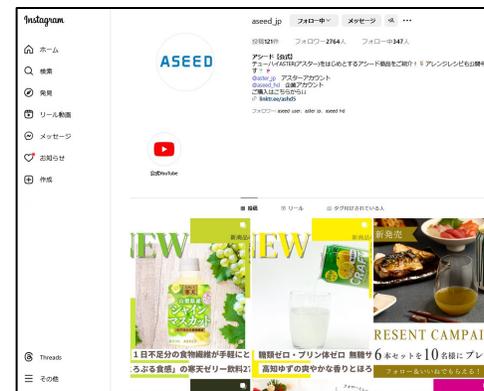


## ● 協賛・メディア掲載

- ・静岡レディース選手権2023・2024チャリティーゴルフトーナメント
- ・福山夏まつり あしだ川花火大会
- ・日経トレンディ 2024年6月号

SU:RESH(カシス黒酢ソーダ)が「新年度トレンド最前線」で掲載

## ● インスタ等SNSでの発信、ECの運営



- メディア関係者等を招待し、「食と茶の夢」の新商品発表会を開催



## 日本を楽しむ酔茶。

日本には、世界に誇る和食文化があり、お茶の文化があり、多様な酒の文化があります。

「食と茶の夢」は、そんな「日本」を楽しむために、

「抹茶」「煎茶」「焼酎」を絶妙に合わせた、新しいカテゴリーの飲み物です。

アルコール3%で飲みやすく、長く味わっていただけるように仕上げました。

もちろんそれだけでも美味しく飲めますが、和食と合わせると、

その味わいはさらに豊かに、食べる楽しみを広げていきます。

それも、例えばお刺身のときは冷やして、とんかつなどでは温めてなど、

お料理に合わせてお好みの温度でお楽しみいただけます。

あなたの食生活に、これまでにない楽しみを、ぜひプラスしてください。



「ASTERチューハイ」 厳選した地域で育った国産のストレート混濁果汁使用

瀬戸内レモンのチューハイ



愛南ゴールドのチューハイ



沖縄シークワサーのチューハイ

有田みかんのチューハイ



福島もものチューハイ



山梨すもものチューハイ

- ストレート果汁使用の低アルコール飲料  
「家バル」「大人のCRAFT 無糖サワー」

- ためして寒天 シェインマスカット  
スポリカスパークリング



- 日本を楽しむ酔茶 — 食と茶の夢 —

- ローズスパークリングウォーター



第20回  
世界バラ会議  
福山大会

ROSE EXPO  
FUKUYAMA 2025



認定  
ばらグッズ  
福山祭委員会  
認定ばらグッズ 2025 に  
選ばれました!

①  
ブランド創造企業へ —  
アシードブランドの拡販、輸出強化

②  
自販機運営リテイル事業において  
独立系オペレーター No1 へ

③  
飲料製造事業の生産性向上、新たな  
製造ラインの検討、M&Aの推進

④  
海外ビジネスの強化と事業投資

⑤  
物流事業の強化

⑥  
新規事業創出とシナジー創出のための  
新規投資の推進

## ②自販機運営リテイル事業において独立系オペレーター No1 へ

- ・組織の在り方や業務プロセスを徹底的に見直し、競争力のある筋肉質の経営体制に変える
- ・M&A・業務提携など業界再編を進める
- ・当社の強みを生かし、飲料メーカー主導のプロダクトアウトから小売り主導のマーケットインへの転換

## 【運営台数ランキング】

順位	運営台数	オペレーター名	本社所在地
1	73,500	アペックス	東京都
2	71,000	八洋	東京都
3	48,500	ユカ	東京都
4	32,000	サン・ベンディング東北	宮城県
5	28,000	アシード	東京都

矢野経済研究所:「2023年度版自販機ビジネスの現状と将来展望」より推計

### ●組織体制見直し

地域に密着した新規開発営業とM&Aの強化を目的に、今期より2統括部体制から、東日本・関東・近畿東海・西日本の4統括部体制に体制を変更

### ●収益性の改善

飲料製造原価の高騰などの影響で、大手飲料メーカーが10月1日から希望小売価格の値上げを発表  
当社も飲料の販売価格の改定を予定（2025年10月～）

### ●キャッシュレス・新紙幣対応

- ・キャッシュレス対応機材は、4,127台  
（うちジハンピ:2,591台）の自販機に取り付け済み



- ・新紙幣への対応として、ビルバリ（紙幣識別機）設定変更もすすめています。

## ●2000年以降のM&A実績(自販機台数100台以上の実績)

買収年月	地域	自販機台数	買収形態	現在	買収年月	地域	自販機台数	買収形態	現在
2000. 2	東 京	896	株式取得	合併	2010. 8	大 阪	459	営業権譲受	
2002. 3	京 都	250	営業権譲受		2011. 4	広 島	383	株式交換	グループ会社
2002. 7	宮 城	1.993	株式取得	合併	2012. 6	静 岡	204	株式取得	合併
2003.10	愛 知	1.700	営業権譲受		2018.12	大 分	135	営業権譲受	
2004. 4	青 森	420	株式取得	合併	2019. 3	和歌山	203	営業権譲受	
2005. 9	石 川	750	株式取得	合併	2020.10	福 島	212	株式取得	2021.12 合併
2008.11	青 森	289	営業権譲受		2021. 6	茨 城	493	株式取得	グループ孫会社
2009. 7	広 島	240	株式取得	合併	2022. 4	佐 賀	301	営業権譲受	
2010. 1	青 森	107	営業権譲受		2023. 2	神奈川	392	営業権譲受	
2010. 6	東 京	389	営業権譲受		2023. 8	宮 城	750	営業権譲受	
2010. 7	青 森	376	営業権譲受		2023.11	栃 木	456	営業権譲受	

自販機業界においてリーディングカンパニーになるべくM&Aを推進  
 上記以外にも営業権を無償譲受案件が増加

- ・缶・ペット・紙コップ・食品など幅広い自販機ラインナップ
- ・独立系オペレーターとして自販機を集約し、CO2削減に貢献
- ・独立系オペレーターでは唯一の上場企業として、飲料メーカーとのWin-Winの関係を構築



# 成長戦略② 自販機 + αの取り組み

- ・クイックストアの運営(茨城県で先行導入)  
(株)いいじまが運営する売店でクイックストア  
(セルフレジ&キャッシュレス決済)の導入を  
進めています。

クイックストア店舗数:10店舗  
売店運営数:9店舗



①  
ブランド創造企業へ —  
アシードブランドの拡販、輸出強化

②  
自販機運営リテイル事業において  
独立系オペレーター No1 へ

③  
飲料製造事業の生産性向上、新たな  
製造ラインの検討、M&Aの推進

④  
海外ビジネスの強化と事業投資

⑤  
物流事業の強化

⑥  
新規事業創出とシナジー創出のための  
新規投資の推進

## ③飲料製造事業の生産性向上、新たな製造ラインの検討、M&Aの推進

- ・東西2工場体制の利点を生かし、物流コストの削減提案などによる受注増加や合理化を実行
- ・新たな製造ラインの検討  
（東広島飲料工場でソフトパウチ飲料製造設備が2027年1月稼働開始予定）
- ・同業パッカーのM&Aや業務提携を積極的に推進

## ●アシードブリュー(株) 東広島飲料工場の製造ライン更新 (2023年2月稼働)

- ・設備投資額 約12億円
- ・従来の250ml缶に加え、190ml缶・350ml缶・500ml缶の充填可能
- ・缶・ビンの製造能力は年間200万箱から400万箱に向上



## ●東日本・西日本の2工場体制



宇都宮飲料工場



東広島飲料工場

2024年10月の再編により両工場を統合

- ・物流コストの削減
- ・資材の共通化
- ・製造の合理化
- ・製造の最適化

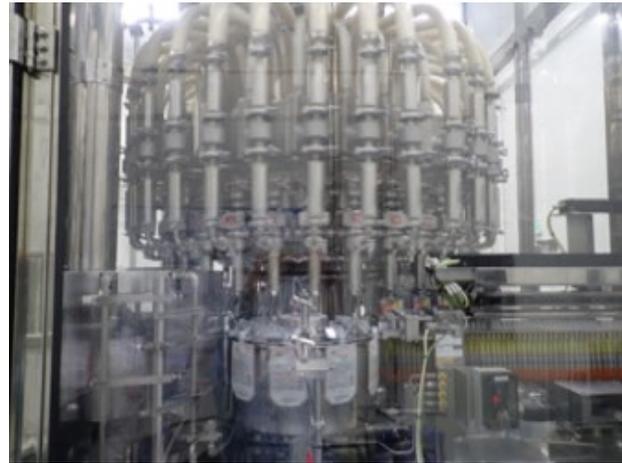


シナジー効果を高め安定した成長へ

- アシードブリュー(株) 東広島飲料工場にソフトパウチ飲料製造ラインの新設
  - ・建物および設備投資額 30億円(予定)
  - ・宇都宮飲料工場で2018年4月より、ソフトパウチ飲料製造ラインが稼働中で、操業開始以来順調に製造数量を伸ばし、フル操業状態。今回の新設により、ソフトパウチ飲料についても東西2拠点体制とする
  - ・2027年1月稼働開始予定
  - ・3カ年計画で稼働率を高め、年間245万ケース、経常利益3億円を見込む



ソフトパウチ飲料ライン(宇都宮飲料工場)



工場完成イメージ

①  
ブランド創造企業へ —  
アシードブランドの拡販、輸出強化

②  
自販機運営リテイル事業において  
独立系オペレーター No1 へ

③  
飲料製造事業の生産性向上、新たな  
製造ラインの検討、M&Aの推進

④  
海外ビジネスの強化と事業投資

⑤  
物流事業の強化

⑥  
新規事業創出とシナジー創出のための  
新規投資の推進

## ④海外ビジネスの強化と事業投資

- ・ハロンビール社の成長・拡大を支援
- ・成長可能性のある飲料・食品事業への投資や飲料・食品メーカー・販売会社などとの資本提携

HaLong Beer And Beverage Joint Stock Companyに株式投資  
(出資比率は30.42%)

- ・飲料製造のノウハウと、ハロンビールの販売チャネルを相互利用し、ベトナム国内はもとよりASEAN諸国でビール・酒類及び清涼飲料市場を開拓
- ・ベトナム以外のASEAN諸国も含め、更なる投資先の獲得を目指す

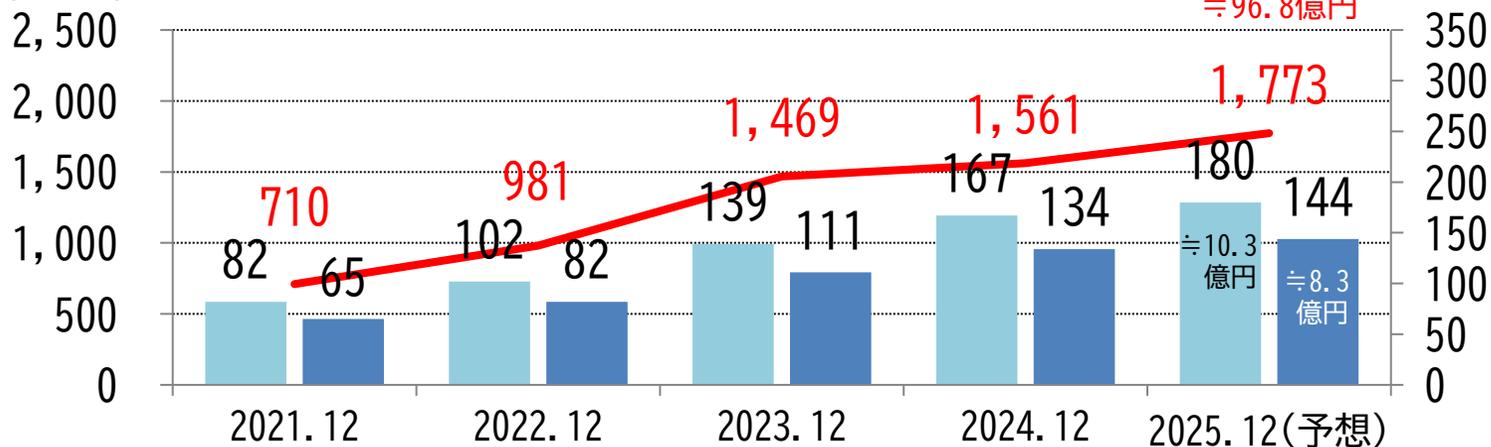


## ハロンビールの業績推移

※10億VND = 約6.2百万円

- 売上高
- 経常利益
- 税引後利益

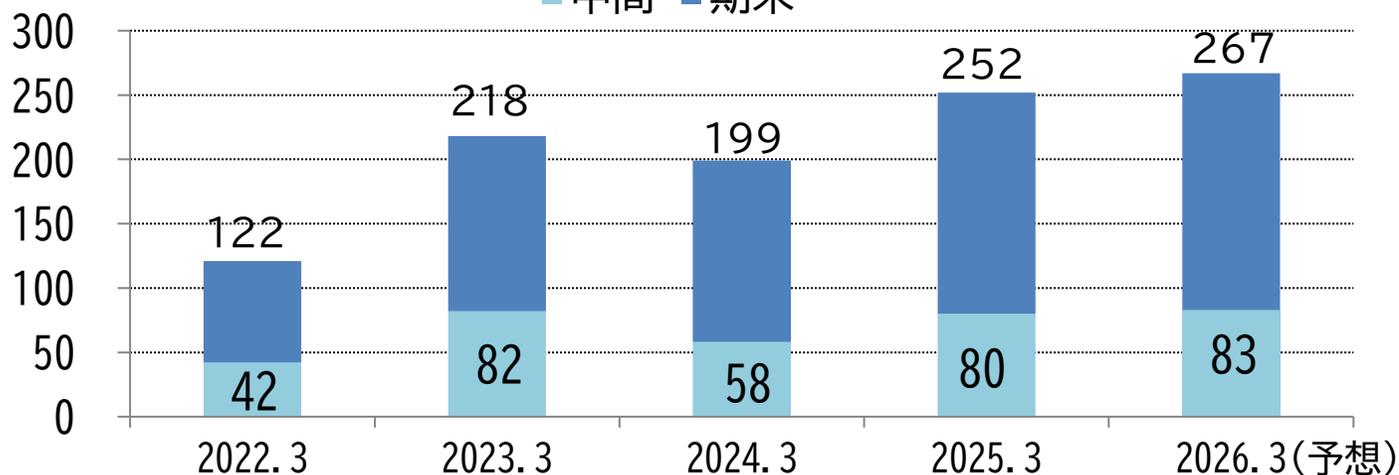
(10億VND)



## ハロンビールの持分法投資利益の推移

(百万円)

■ 中間 ■ 期末



①  
ブランド創造企業へ —  
アシードブランドの拡販、輸出強化

②  
自販機運営リテイル事業において  
独立系オペレーター No1 へ

③  
飲料製造事業の生産性向上、新たな  
製造ラインの検討、M&Aの推進

④  
海外ビジネスの強化と事業投資

⑤  
物流事業の強化

⑥  
新規事業創出とシナジー創出のための  
新規投資の推進

## ⑤物流事業の強化

- ・倉庫保管運営事業、ロジスティクス事業を強化
- ・自社グループ物流事業の内製化拡大
- ・物流倉庫の不動産取得を検討し、物流保管業務の営業拡大



①  
ブランド創造企業へ —  
アシードブランドの拡販、輸出強化

②  
自販機運営リテイル事業において  
独立系オペレーター No1 へ

③  
飲料製造事業の生産性向上、新たな  
製造ラインの検討、M&Aの推進

④  
海外ビジネスの強化と事業投資

⑤  
物流事業の強化

⑥  
新規事業創出とシナジー創出のための  
新規投資の推進



株式会社河村農園(2022年8月子会社化)  
「世界一美味しい健康茶をつくる」という想いととも健康茶を製造



<https://www.kwfa.gr.jp/online-shopping/>



静岡ローストシステム株式会社(2023年4月子会社化)  
各種茶葉の粉碎・焙煎・ブレンド・異物除去などの受託加工



マルサン萩間茶株式会社(2023年4月子会社化)  
1000種以上の茶葉のオンライン販売



<https://www.chaoroshihonpo.net/>

## 茶葉加工事業の事業規模(前期)

売上高:1,457百万円	営業利益:165百万円
--------------	-------------



さらなる飲料・食品関連企業のM&Aを推進

## ●静岡ローストシステム(株)への設備投資

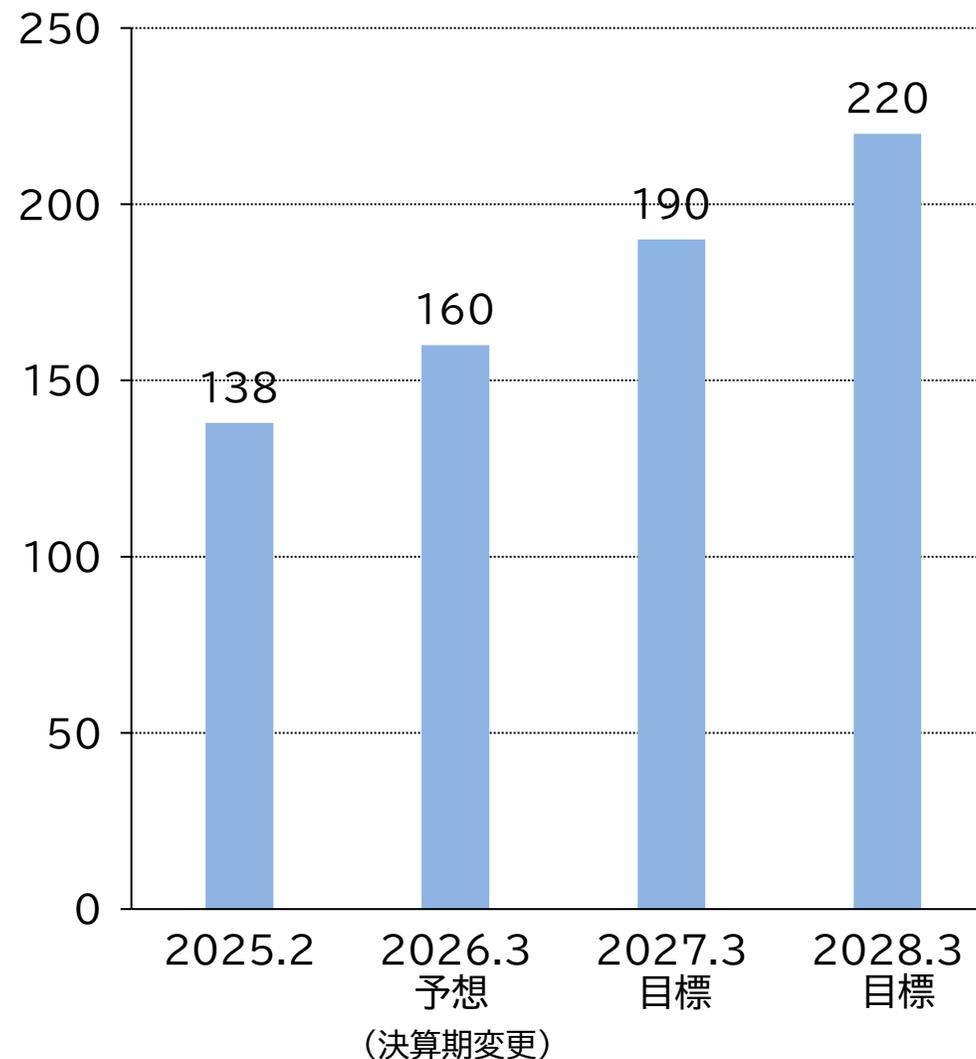


茶葉の微粉碎加工



南倉庫の建設

## ●静岡ローストシステム(株)の営業利益計画



1. 事業概要
2. 2025年3月期決算概況と今期通期見込
3. 成長戦略
- 4. ESGの取り組み**
5. 株主還元
6. 質疑応答

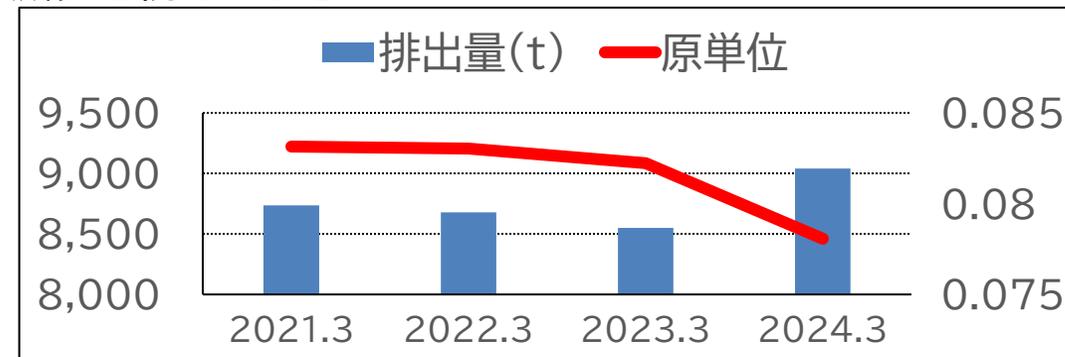
- CO2排出量(2024年3月期)  
Scope1-2:14,293t  
Scope3:156,975t

CDPスコア2024

気候変動 : C  
水セキュリティ : C

- 飲料製造事業のCO2排出量削減の取り組み

製造数量により排出量の増減はあるが、原単位では減少を続けている



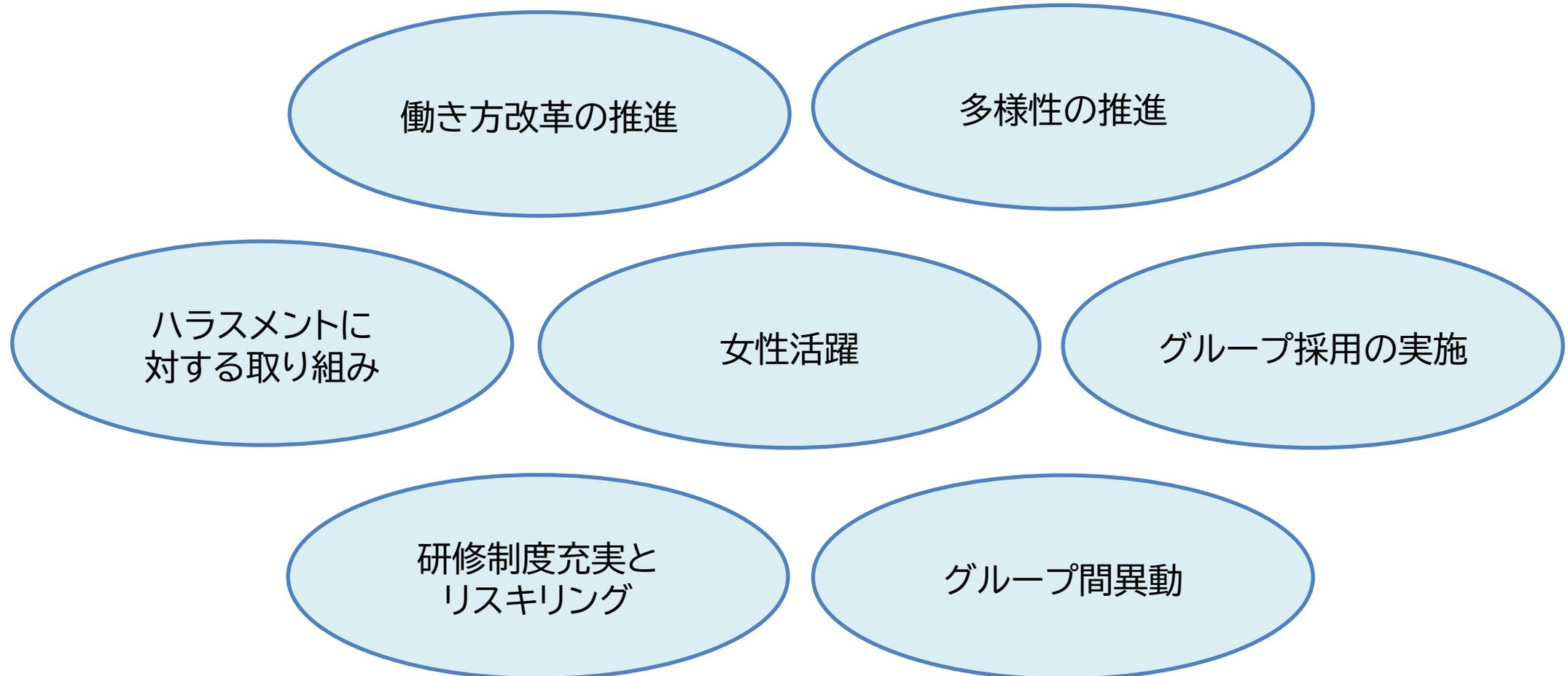
- 設備更新の状況

2021年	アシードブリュ(東広島)	屋根に太陽光パネルを設置
2021年	アシードブリュ(宇都宮)	コンプレッサーの高効率化
2022年	アシードブリュ(宇都宮)	照明のLED化
2023年	アシードブリュ(宇都宮)	パストライザーの更新
2023年	アシードブリュ(東広島)	新炭酸ラインの導入
2024年	アシードブリュ(宇都宮)	屋根に太陽光パネルを設置
2024年~	静岡ローストシステム	屋根に太陽光パネルを設置



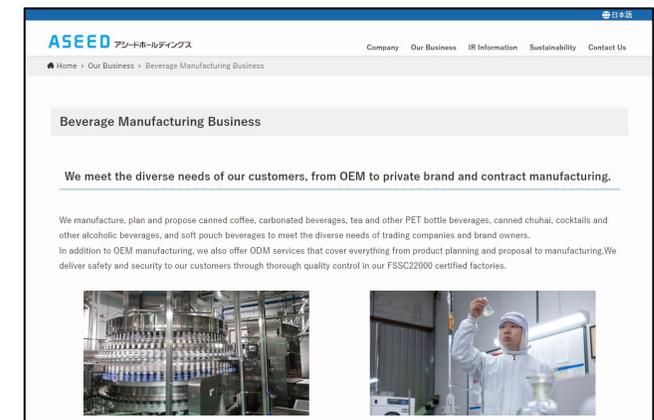
静岡ローストシステム  
太陽光発電設備

人間尊重と人材育成を基本とし、社員の福祉向上と能力開発に努力し、働く個人に自己実現の場を提供します。



- 2021年1月 ・ 取締役会の任意の諮問機関として、指名報酬委員会を設置
- 2021年2月 ・ 取締役の選任に関する方針の決定
  - ・ 取締役の報酬決定に関する方針の決定
- 2021年5月 ・ 取締役会実効性評価を実施
  - ・ 政策保有株式の保有の適否検討
- 2021年6月 ・ 譲渡制限付株式報酬制度（RS）を導入
  - ・ 取締役8名のうち独立社外取締役3名の体制を継続
- 2021年6月 ・ サステナビリティ委員会の設置
- 2022年4月 ・ アシードHD Webページの英語版公開開始
- 2022年5月 ・ 議決権電子行使プラットフォームの利用開始
- 2023年6月 ・ 有価証券報告書にサステナビリティの記載開始
- 2024年6月 ・ 女性社外取締役の選任による取締役会の多様性向上

## 英語版Webページ



1. 事業概要
2. 2025年3月期決算概況と今期通期見込
3. 成長戦略
4. ESGの取り組み
- 5. 株主還元**
6. 質疑応答



2021年12月  
 ・自己株式の取得を実施  
 ・自己株式立会外買付取引を実施

2023年7月  
 ・立会外分売を実施

2024年1月  
 ・貸借銘柄選定

2024年2月  
 ・立会外分売を実施

### 株券等の分布状況

	2024.3	2025.3
1単元以上株主数	6,499人	7,593人
流通株式数	35,198単位	35,427単位
流通株式時価総額	2,241百万円	2,423百万円
流通株式数比率	26.08%	26.25%

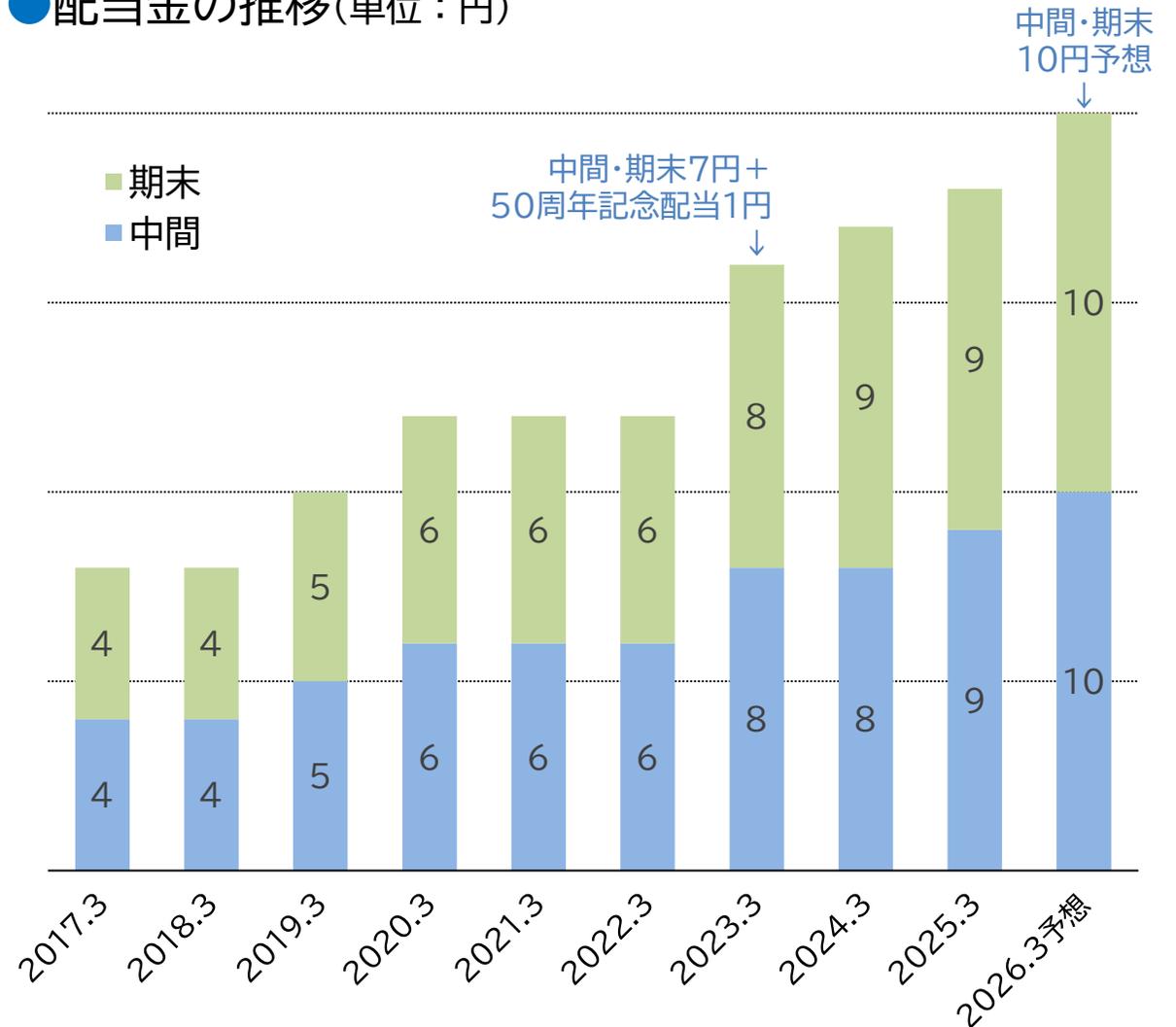
①今期は1株当たり年20円普通配当を予想  
(配当利回り 2.9% 株価692円の場合)

②内部留保はM&A、海外投資、飲料設備等に  
優先的に充当

③配当性向30%程度を基準に累進配当を継続  
1993年の店頭登録以降 減配することなく  
配当を継続して実施

	2024.3	2025.3	2026.3 予想
1株当たり 配当金	17円	18円	20円
配当性向	27.1%	29.7%	29.3%

●配当金の推移(単位：円)



※ いずれか一点

	自社商品（アルコール飲料） 詰め合わせ 	自社商品（清涼飲料・お茶） 詰め合わせ 	QUOカードまたは デジタルギフト 
保有株式 100株以上	1,000円相当	1,000円相当	500円相当
保有株式 500株以上	1,500円相当	1,500円相当	1,000円相当
保有株式 1,000株以上	2,500円相当	2,500円相当	2,000円相当
保有株式 2,000株以上	3,500円相当	3,500円相当	3,000円相当

72.7%の株主様が自社商品詰め合わせを選択

優待を含めた実質配当利回り:3.1% (2,000株)～ 4.3%(100株) 4月末株価692円、配当年20円で想定

本資料に記載されている、当社又は当社グループに関連する業績予想・計画・経営戦略・方針などは、将来の見通しに関する記述であり、これらは、現在入手可能な情報に基づく経営者の判断などを基礎としています。これらの将来の見通しに関する記述は、様々なリスクや不確定要因の影響を受けるため、現実の結果が想定から著しく乖離する可能性がある事をご承知おきください。

また、当資料はあくまで当社を理解していただくためのものであり、必ずしも投資をお勧めするものではありません。さらに将来の予測のみならず、過去の部分も含めて見直し等により予告なしに変更することがありますのでご注意ください。

## 本資料・IRに関するお問い合わせ先

アシードホールディングス株式会社

経営企画グループ

T E L : 084-923-5552

E-mail : [kikaku@aseed-hd.co.jp](mailto:kikaku@aseed-hd.co.jp)

U R L : <https://www.aseed-hd.co.jp/>